

15 自然災害・大火・その他特異災害記録

年 月 日	災害の種類	災 害 の 概 要
寛文 7. 8. 6	大 噴 火	山頂に小型カルデラ形成、降下軽石東方に堆積、山麓に軽石流下、森林焼失、樹木・住居埋没、死者多し、その振動津軽まで及ぶ。
元文 4. 7. 14 ～26	〃	鳴動噴火し、降灰が多く、2～3日は昼が夜のように暗く津軽まで地震を感じた。中央火口丘形成、降下軽石東北東に堆積、山麓に軽石流下、森林焼失。
文化 1～14//	〃	近傍数十里内は、灼熱した砂石が落下して死者多数を出した。古い溶岩円頂丘形成、降下軽石東方に堆積、シシャモナイ川上流にスコリア流下、家屋埋没あり。
慶応 3. 初秋	噴 火	大砲の如き響音、雷の如き轟きが続いた。白老に降灰。(3寸位)
明治 4. 12. 25	大 噴 火	前存円頂丘崩壊し約100mの凹地となる。火山砂礫南方落下し字別々に約25cm積もった。外輪山南部決壊。
7. 2. 8	〃	円頂丘崩壊飛散、鳴動電光とともに噴火、砂礫が雨のように降った。
16	噴 火	札幌方面にまで降灰、振動続く。
16. 10. 7	〃	噴火口の周囲決壊。
18	〃	苫小牧駅付近降灰。
11. 5	〃	中央火口南縁付近に小丘生成、札幌地方に降灰。
18. 1. 4	〃	火山砂、礫が噴火口近辺に散乱し、降灰遠方に達す。
3. 26	〃	噴煙の規模は1月のものよりやや弱い。
19. 4. 13	〃	噴煙の高さ約360m北東12kmまで降灰し厚さ0.6～1.0cm。
15～16	〃	13日と同じで火山灰南東約8kmまで降る。
28	〃	勇払樽前沿岸20～24kmに降灰。
20. 9. 3	〃	遠雷の響き、噴煙約3,600m、人畜死傷なし。
10. 7	〃	噴煙約2,700m、苫小牧山野海面に降灰。
8	〃	噴火噴出した砂、石は数百丈の高さに達し、苫小牧に灰が雪のように降った。
27. 2. 8	〃	降灰。
8. 17	〃	黒煙立ちのぼり火山灰の降ることが平素の10倍にもなった。

年 月 日	災害の種類	災 害 の 概 要
明治30. 10. 30	火 災	市街地大火（元樽前神社付近）35戸焼失。
32. 9. 15	〃	市街地大火 25戸焼失。（場所原因不明）
33	水 害	（浸水家屋、被害不明）
42. 1. 11	噴 火	山頂に火柱。
3. 30	大 噴 火	新爆裂火口生成、噴煙7,600m、降灰約85Km ² 、砲声のような鳴動。
4. 6	暴 風 雨	家屋倒壊9戸、屋根破損45戸。
12	大 噴 火	軽石降下、札幌に降灰、山麓住民非難。
4. 17 ～19	噴 火	新円頂丘生成。（ドーム噴出）
5. 3 ～22	山 火 事	4月24日から全道的に雨が降らず連日強風吹く。このため5月3日～5月22日に全道的に山火事が発生、23日の降雨でようやく消えた。国有林143,680町歩、模範林14,815町歩が被災した。
5. 15	小 噴 火	支笏湖方面一体に降灰。
7. 26	洪 水	全道的な降雨のため各地で河川氾濫。厚真川で午後2時頃より堤防が決壊出水し全村浸水、振老村市街地は床上浸水20cm余に及ぶ。又、安平川も氾濫し、早来、安平村で床上浸水34戸、田畑200町歩冠水。
大正 6. 4. 30	噴 火	噴煙の高さ約1,800mに及んだ。苫小牧市街地は降灰のため一時暗黒。
5. 12	〃	支笏湖方面降灰、円頂丘頂上に3個の新火口生成。
7. 6. 13	〃	支笏湖方面に少量の降灰。
8. 5. 4	〃	錦多峰、白老方面に多量の降灰。
9. 7. 22	〃	約1時間にわたって火煙を空高く吹き上げ鳴動とともに山麓一帯に降灰、白老方面の草木は灰色となった。
10. 5. 1	大 火 (コイボリ)	午後1時20分頃三条通り6丁目、佐藤某宅より出火、原因煙突掃除の不完全1,007戸を焼き午後4時過ぎに鎮火した。被災者5,350名 死1 傷25、焼失面積71,400坪、損害額5,235,000 円
7. 6	噴 火	黒煙高く昇り約30分間にわたって鳴動、苫小牧市街をはじめ山麓一帯に火山灰。
12. 2. 21	大 噴 火	苫小牧地方に多量の灰、明治42年以来の大噴火、人畜被害なし。

自然災害・大火・その他特異災害記録（つづき）

年 月 日	災害の種類	災 害 の 概 要
大正6. 17 ～29	噴 火	札幌地方に降灰。
7. 13 ～14	小 噴 火	夕刻各1回小噴火があった。
12. 21	突風・高波	苫小牧近海に出漁中の漁船19隻、午後1時すぎ南の突風と高波に襲われ、3隻遭難、漁夫12名溺死し、全道的にも暴風雪が吹き荒れ、特に海岸地方の被害は大であった。
14. 5. 24 ～6. 15	干 ば つ	5月24日より6月15日まで一滴の雨も降らず、23日間のかん天続きのため畑地は15cm余も乾き、早まき作物もい縮又は発芽しないものさえあり、まき付のおくれた農家ではまき付不可能におちいった。
12. 8	大 風	朝から暴風であったが同午後3時20分より10分間大旋風が起り、駅前通りの家屋3棟14戸が大破した。
15. 10. 19	噴 火	山麓一帯に有感地震、幌別、札幌方面に降灰。
24	〃	大音響とともに噴火、もうもうとした黒煙が火炎とともに噴出。
26	〃	夜明け前に轟音とともに爆発、火柱が立って電光を放射。
30	〃	落下溶岩により人家屋根破損、オホーツク沿岸に降灰。
昭和 2. 9. 8	大 火	午後1時30分大町旭館通りから出火、焼失37戸、焼失面積 555坪、傷者 4名、損害額65,000円。
3. 9. 6	小 噴 火	降灰周囲40km、苫小牧厚さ6cm。
10. 25	〃	爆発。
5. 2. 12	暴 風 雪	午前より天候一変して吹雪となり、夕刻より一層激しくなったが、午後9時ごろ王子製紙の工場の厚木巻き上げクレーン高さ約40mが暴風にあおられ、自然に動き出し線路の歯止め根底より破壊された。
6. 6. 6 ～ 7	長 雨	米 480円、燕麦 239円、小麦 216円など 1,788円の被害。
8. 8. 7 ～ 8	豪 雨	水田67町歩、小豆20町歩、小麦37町歩などの水害を受け16,606円の被害。
12. 1	噴 火	噴煙1,000m、北東山麓では貨物列車が通過するような異常音響。
11. 4. 20	〃	千歳方面に降灰、ドームの北東に新火口生成。
11. 15 ～25	小 噴 火	湖畔付近に降灰。

年 月 日	災害の種類	災 害 の 概 要
昭和14. 7. 10 ～11	豪 雨	渡島半島付近に停滞した低気圧の影響で連日の降雨、胆振地方の各河川ははんらん、苫小牧、室蘭間の交通途絶。
18. 6. 13	地 震	14時11分、震度4。（青森県東方沖 M7.1）
19. 7. 2	小 噴 火	降灰少量。
10. 8	暴 風 雪	室蘭を中心とする海岸ならびに噴火湾沿岸の被害多数、苫小牧では屋根はく落10件、電柱倒壊14件。最大風速19.0m/s 、降水量14.5mm。
20. 7. 14	空 襲	機銃掃射、爆弾、焼夷弾投下により、死者4名、重軽傷者7名、家屋全壊1件、半壊1件、小破22件。
15	〃	機銃掃射等の空襲により軽傷者4名、家屋全壊1件、半壊2件、小破6件。
20. 7. 31	空 襲	艦砲射撃により、建物被害13棟。
25. 8. 1	豪 雨	1日午後から2日朝にかけて、台風の影響により豪雨襲来し、447mmに達する。このため苫小牧市だけで道路、橋、河川、農地等の被害額108,000千円にのぼる。なかでも覚生川の列車脱線転ぶく事故で死者17名、負傷者57名を出す。橋りょう流失45か所、家屋床上浸水1,530戸、床下浸水4,075戸、全壊4戸、半壊3戸。
26. 1. 29	小 噴 火	砲声のような鳴動、山麓一帯に薄化粧程度の降灰。
7. 28	〃	火口から約20mの範囲内でこぶし大の礫が散乱、火口から150mの範囲内で泥流発生。
27. 3. 4	地 震	十勝沖地震で当市は、震度4の強震(M8.2)、住居、工場施設等の破損、煙突倒壊、水道破裂より被害額26,000千円。
5. 12	大 火	午後1時30分苫小牧市元町から出火、13mの北風で15戸全焼する。（5月7日～18日にかけて全道に異常乾燥、強風火災注意報が発令中であった）
5	山 火	苫小牧市柏原にて山火発生、植苗方面で600町歩焼く。
28. 9. 14	小 噴 火	山頂火口原付近に降灰。
29. 5. //	暴 風 雨	風倒木 150万石。
2	小 噴 火	小泥流発生、火口付近降灰。
9. 26	台 風	台風15号の通過の影響で最大風速37.5mに達する。このため全半壊家屋200戸、電柱倒壊1,200本、風倒木 192万石等をだし、被害額640,000千円に達する。また、青函連絡船洞爺丸の転ぶくにより本市関係者12名が死亡する。最大風速31.8 m/s 、瞬間最大風速37.8m/s 、降水量72mm。

自然災害・大火・その他特異災害記録（つづき）

年 月 日	災害の種類	災 害 の 概 要
昭和29. 11. 19	小 噴 火	山頂付近に降灰、爆発音、空振、有感地震。
30. 2. 14	〃	有感地震、空振。
33. 1. 15	高 波	低気圧による強風で高波襲来し、元町の海岸で767.7mにわたって浸食され40mの護岸工事を実施、工費1,787千円。
7. 2	〃	高波により浜町海岸が350mにわたって浸食され、230mの護岸工事を実施、工費9,045千円。
37. 4. 23	地 震	14時58分、震度4。（十勝沖 M7.1）
8. 3 ～ 9	台 風	3日から9日にかけて台風9号、台風10号が連続して当地方を襲い、最大風速32mの強風と、合計270mmの豪雨をもたらし、このため、家屋浸水、堤防欠壊、農作物被害等95,000千円にのぼる被害を被った。最大風速19.7m/s、降水量(3日)108.5mm。
38. 8. 31	洪 水	大雨のため、別々川が氾濫し、付近一帯は、洪水に没した。
40. 9. 7	豪 雨	降水量93mm、床下浸水60戸、木場町奥の沼が溢れて木場町住宅地に流れ込む。
昭和40. 9. 9 ～10	台 風	床上浸水60戸、床下浸水 1,170戸、河川決壊 6箇所、農地被害 459町歩、漁船沈没 6隻、護岸決壊75m、瞬間最大風速30.4m/s、降水量83.1mm。
17 ～18	〃	床上浸水41戸、床下浸水 1,455戸、河川決壊 3箇所、農地被害 565町歩、瞬間最大風速27.1m/s、降水量107.8mm。
41. 8. 16 ～20	大 雨	5日間の降水量139.5mm、樽前観光道路欠損 7カ所、河川決壊1カ所、河口護岸決壊 1カ所。
43. 2. 19 ～20	大 雪	表町商店街大雪（44cm）のためオーニングがつぶれる。交通混乱する。
5. 16	地 震	1968年十勝沖地震（9時48分発生）と命名され、苫小牧市は、震度5（M7.9）で、公共施設、その他住居、工場施設などの破損により被害額750,000千円とみられている。死 1、重軽傷者21、家屋半壊 6、牛舎全壊 2、煙突倒壊64、屋根半壊20。
5. 16	〃	19時39分、震度4。（十勝沖 M7.5）
44. 10. 1	強 風	最大風速19.7m/s、瞬間最大風速28.0m/s、漁船沈没 1、破損12。
45. 1. 21	地 震	2時33分、震度4。（十勝地方南部 M6.7）
1. 31 ～2. 1	高 潮	最大風速10.3m/s、最大波高530cm、最低海面気圧965.0mb、床上浸水 2棟、床下浸水 5棟、漁船沈没 1、破損 5、防波堤決壊30m。

年 月 日	災害の種類	災 害 の 概 要
昭和45. 3. 16 ～17	大 雨	降水量55. 5mm、最大風速17. 8m/s 、床上浸水2戸、床下浸水1戸、道路不通カ所1。
50. 8. 19 ～24	台 風	台風5号、6号の通過の影響で、家屋浸水、道路冠水（錦岡、明野地区一帯）街路樹破損等の被害があった。
51. 10. 1	集中豪雨	1日夕方から約5時間に44mmの雨量があり、家屋浸水11棟、河川の護岸決壊、土砂流出等の被害があった。土木被害額は約6, 900千円。
53. 5. 14 ～17	小 噴 火	山腹に降灰。
8. 8	〃	〃
12. 12	〃	〃
16	〃	〃
26	〃	〃
29	〃	〃
54. 1～5	〃	〃 （19 回）
10. 3 ～ 4	集中豪雨	3日午後3時45分から4日午前4時40分までの間に106mmの降雨があり、特に3日午後8時20分から午後9時20分の1時間に79. 5mmを記録した。この雨により床上浸水71戸、床下浸水974戸又農地冠水のほか道路、河川、上下水道等公共施設に被害があり、被害総額は184, 983千円。
昭和56. 1. 23	地 震	13時58分、震度4。（浦河沖 M6. 9）
2. 27	小 噴 火	火口源に降灰。 56. 1 火山性地震増加 420回 56. 2 〃 1, 121回
8. 3 ～ 6	豪 雨	3日から12日にかけての前線と台風12号による大雨により、降水量が355. 5mmに達する。床上浸水24戸、床下浸水272戸農地冠水その他、道路、河川、上下水道等の公共施設被害額は188, 000千円。
21 ～23	台 風	21日から24日にかけての台風15号と前線による大雨により、瞬間最大風速38. 6m/sの強風と、降水量が154. 5mmに達する。このため、床下浸水34戸、屋根破損等299戸にのぼり、農作物被害額20, 283千円、道路、河川、上下水道等の公共施設被害額は230, 972千円。
57. 3. 21	地 震	11時32分、震度4。（1982 浦河沖地震 M7. 1）

自然災害・大火・その他特異災害記録（つづき）

年 月 日	災害の種類	災 害 の 概 要
昭和57. 10. 19 ～20	大 雨	19日～20日にかけての低気圧に伴う大雨により、瞬間最大風速36m/sの強風と79.0mmの降雨があり、特に20日午後5時から6時までの1時間に46.5mmを観測した。このため、床上浸水、家屋の一部破損の他、港湾、漁業施設で被害があり被害総額は、53,653千円。
59. 9. 18	豪 雨	18日午後4時頃より降り始めた雨は午後7時までの3時間で121mmの集中豪雨となり、特に午後5時10分から午後6時10分までの1時間に79mmを観測した。このため床上浸水19戸、床下浸水96戸の被害があった。
62. 1. 14	地 震	20時03分、震度4。（震源地日高山脈北部 M6.6）
8. 26 ～27	豪 雨	25日23時頃より降り始めた雨は、27日18時まで断続的に降り総雨量199.5mmを記録した。このため床上浸水40棟46戸、道路冠水及び土砂流出11路線、河川の決壊12本23か所、公園2か所冠水、上下水道被害、農作物被害等被害総額は223,561千円。
63. 5. 13	突 風	最大風速20.9m/s、瞬間最大風速34.5m/s、公共施設の被害4,035千円。
11. 24	暴 風 雨	低気圧通過に伴い最大風速16.1m/s、瞬間最大風速28.2m/sを観測。住家被害37棟2,244千円、非住家被害 187千円、漁具被害37,335千円、外42,704千円の被害。
平成 5. 1. 15	地 震	20時06分、震度4。（釧路沖 M7.5）、公共施設被害4,640千円。
7. 12	〃	22時17分、震度4（北海道南西沖 M7.8）、港湾施設の被害43,400千円。奥尻島青苗地区は、津波と火災により壊滅状態となる。
6. 9. 18	台 風	台風24号により、港湾内で最大波6.38mを記録し、港湾施設被害318,000千円、漁船・漁具被害9,720千円。
10. 4	地 震	22時22分、震度4。（北海道東方沖 M8.2）
12. 28	〃	21時19分、震度4。（三陸はるか沖 M7.6）
平成 7. 12. 24 ～25	大 雪	低気圧の通過に伴い降り出した雪は、24日の降雪量が26cmで12月の日降雪量としては、観測史上第4位を記録、24日9時から25日9時までの降雪量は33cmに達した。また、最大風速13.8 m/s、最大瞬間風速28.8m/sの強風を伴い、交通混乱をもたらした。
8. 8. 22 ～23	大 雨	22日午後9時から23日午後12時までに129.5mmの雨量を観測し、床下浸水1戸、道路冠水13ヶ所、土砂流出1ヶ所。
8. 9. 4 ～ 5	大 雨	4日午後5時から翌5日午後4時までに59mmの降雨があり、このため河川決壊3ヶ所、道路損壊1ヶ所により、総額33,900千円の被害があったほか床下浸水1戸。

年 月 日	災害の種類	災 害 の 概 要
平成 9. 6. 13 ～9. 3	油 流 出	6月12日午後7時19分頃、苫小牧沖で、死者1名、1隻が沈没する貨物船同士の衝突事故が発生した。翌13日未明、沈没した船から燃料用重油等が流出していることが確認されたため、「苫小牧沖油流出事故災害対策本部」を設置した。 流出した油は、午前8時56分、錦岡海岸に漂着したことが確認され、その後白老町等の海岸へと範囲が拡大した。13、14、17、18日の4日間、苫小牧建設協会、苫小牧管工事業協同組合、苫小牧測量設計業協会、王子製紙(株)、出光興産(株)、苫小牧清掃社(有)、苫小牧ボランティア連絡協議会、苫小牧青年会議所、陸上自衛隊第73戦車連隊、北海道、北海道開発局、応援協定に基づく千歳市・恵庭市・白老町・厚真町・早来町・追分町・鶴川町・穂別町、苫小牧市消防団、苫小牧市消防本部(署)苫小牧市などから延べ4,000人の協力によって、油回収作業が実施された。 9月1日沈没した船体が引き上げられるまで、海岸の監視活動を実施した。 災害対策本部設置期間 平成9年6月13日午前5時から9月3日午後5時 災害対策費用 27,365千円
9. 9. 19 ～20	高 波	台風20号の通過の影響に伴い、最大6.35mを観測した高波により、河川2カ所、海岸4カ所の護岸破損及び土砂流出の被害があり、被害総額440,886千円。
10. 9. 16	台 風	最大瞬間風速27.4m/sを観測した台風5号により、道路、公園等の立ち木1,615本をはじめ住宅、小学校、街路灯などの強風による被害と雨による農作物、道路法面決壊1カ所の被害があった。被害総額 17,781千円。
11. 5. // ～11. 7. //	地 震	5月に地震回数441回と増加し、臨時火山情報1号発表。 7月にも地震回数471回を観測。
12. 10. 1 ～10. 2	大 雨	低気圧の通過に伴い、1日から2日にかけて苫小牧東部地区で集中豪雨。 床下浸水 1戸、沼ノ端・明野地区で道路冠水。
13. 8. 22 ～8. 23	台 風	台風11号の通過に伴い、市道樽前登山道観光線の6合目付近で道路損壊。植苗地区で道路冠水。
13. 9. 11 ～9. 12	台 風	台風15号の接近に伴い、11日午後1時に苫小牧市非常警戒本部を設置。総雨量182mmを観測し、錦岡、澄川、植苗、勇払地区で道路冠水等の被害があった。被害総額 17,655千円。
13. 10. 1 ～10. 2	大 雨	低気圧の通過に伴い総雨量122mmを観測。もえぎ町、沼ノ端地区で道路冠水。
14. 4. 15 ～4. 16	コンビナート 火 災	午後7時15分頃、苫小牧市真砂町の石油コンビナート等特別防災区域内製油所で、重油直接脱硫装置が炎上。発生から約10時間後に鎮火。
14. 7. 11	大 雨	低気圧の通過に伴い総雨量80mmを観測。
14. 9. 28	大 雨	低気圧の通過に伴い総雨量123mmを観測。
14. 10. 1 ～10. 2	暴 風	低気圧の通過に伴い、最大瞬間風速22.9m/sを観測。 沼ノ端・植苗の一部で872世帯が停電。
15. 9. 26	地 震	午前4時50分頃、十勝沖を震源地とする M8.0の地震が発生し、苫小牧市では震度5弱を観測。災害対策本部を設置したが、地震による被害は特になし。

自然災害・大火・その他特異災害記録（つづき）

年 月 日	災害の種類	災 害 の 概 要
平成15. 9. 26	コンビナート火災	午前4時52分、苫小牧市真砂町の石油コンビナート等特別防災区域内製油所でリング火災が発生。午前12時9分に鎮火。
15. 9. 28 ～ 9. 30	コンビナート火災	午前10時46分、苫小牧市真砂町の石油コンビナート等特別防災区域内製油所で石油タンク全面火災が発生し44時間9分後の30日午前6時55分鎮火。市では、災害対策本部を設置し、被害調査、広報活動、臭気調査、苦情相談、避難所準備などの対応にあたった。消火に使った泡消火薬剤は、647,300Lに及んだ。
15. 10. 1 ～10. 22	コンビナート火災	石油タンクの安全性が確保されていないこと、また、十勝沖地震の余震がかなりの確率と発表されたため非常警戒本部を設置し、被害調査、広報活動、臭気調査、苦情相談などの対応にあたった。
16. 8. 30 ～ 8. 31	台風	台風16号の通過に伴い、最大瞬間風速23.0m/sを観測。暴風による建物等の被害が数件。
16. 9. 7 ～9. 8	台風	台風18号の通過に伴い、8日午前9時に非常警戒本部設置。最大瞬間風速32.7m/sを観測。更に、市内一円で停電、一部断水が発生した。住家等一部損壊数10件、人的被害は31件に及んだ。公共施設の被害額224,674千円、農漁業被害額30,255千円、森林被害においては、被害額276,200千円となり大きな被害を被った。
16. 12. 20	暴風	低気圧の通過に伴い最大風速19.3m/s、最大瞬間風速30.8m/sを観測。暴風による建物等の被害が数件、人的被害が2件。
17. 8. 22	大雨	前線の影響により21日16時から22日15時までの総降水量が121mmに達した。道路冠水、錦岡川上流部で決壊の被害。
17. 9. 6 ～9. 8	台風	台風14号の通過に伴い、最大風速14.3m/s、最大瞬間風速23.9m/s、6日21時から8日4時までの総降水量は110mmを観測。大雨による道路冠水、法面崩土等の被害、暴風による農業被害が発生。
17. 11. 28 ～11. 29	暴風	低気圧の通過に伴い最大風速21.1m/s、最大瞬間風速33.6m/sを観測。暴風による建物等の被害が数件。市内3,220戸で停電。
18. 8. 18 ～8. 19	大雨	前線の影響により18日22時から24時まで3時間で降水量は47.5mmを観測。道路冠水、半地下浸水の被害。
18. 9. 5 ～9. 6	台風	北海道東側沿岸を通過した台風12号の影響で高波が発生。高波により市道東部南通線が冠水。小泉の沢川河口護岸が損壊。漁業被害15,000千円。
18. 10. 7 ～10. 8	暴風	低気圧の通過に伴い最大風速12.9m/s、最大瞬間風速26.7m/sを観測。暴風による建物等の被害数件。
19. 1. 7	暴風	低気圧の通過に伴い最大風速13.8m/s、最大瞬間風速28.3m/sを観測。暴風による建物等の被害数件。
19. 2. 14	暴風	低気圧の通過に伴い最大風速14.1m/s、最大瞬間風速26.1m/sを観測。暴風による建物等の被害数件、人的被害が1件。

年 月 日	災害の種類	災 害 の 概 要
平成20. 2. 23 ～2. 24	大 雪	低気圧の通過に伴い23日から24日の降雪量は37cm、最大風速14.6m/s、最大瞬間風速29.3m/sを観測。 風雪による吹きだまりで市内各所で交通障害が発生。
20. 7. 28	大 雨	気圧の谷の通過に伴い15時50分から16時50分までの1時間雨量33mmを観測。 市内各所で道路冠水の被害。
20. 10. 9	大 雨	気圧の谷の通過に伴い17時00分から17時10分までの10分間雨量20mmを観測。 道路冠水、半地下浸水の被害。
21. 2. 20 ～2. 21	暴 風 雪	低気圧の通過に伴い最大風速11.6m/s、最大瞬間風速20.4m/s、最深積雪27cmを観測。 風雪による吹き溜まりで交通障害発生。
21. 10. 8 ～10. 9	台 風	台風18号の通過に伴い、最大風速12.1m/s、最大瞬間風速20.9m/sを観測。 街路樹5本、街路灯1本、校地内木柵倒壊の被害。
21. 12. 5 ～12. 6	暴 風	低気圧の通過に伴い最大風速20.4m/s、最大瞬間風速30.5m/sを観測。 暴風による建物等の被害が20数件。市内3,338戸で停電。
22. 2. 28	津 波	チリ沖地震発生に伴い、津波警報が発令され災害対策本部設置。 一部地域に避難勧告を発令したが、津波による被害はなし。
22. 8. 11 ～ 8. 12	大 雨	台風4号の通過に伴い11日23時から24時までの1時間雨量38.5mmを観測。 道路冠水の被害。
22. 12. 3	暴 風	低気圧の通過に伴い最大風速17.2m/s、最大瞬間風速25.8m/sを観測。 街路樹3本、横断歩道灯支柱倒壊の被害。
23. 3. 11	地 震 津 波	14時46分、震度4。（2011 東北地方太平洋沖地震 M9.0）軽症者1名。 大津波警報が発令され西港で津波高さ2.1mを観測。災害対策本部設置。 一部地域に避難勧告を発令。港湾被害14,054千円、漁具被害1,632千円。
24. 9. 25	大 雨	低気圧の通過に伴い3時から4時までの1時間雨量25mmを観測。 市内各地で道路冠水、浸水被害。
24. 12. 4	暴 風	低気圧の通過に伴い最大風速17.8m/s、最大瞬間風速26.1m/sを観測。 人的被害が1件。道路冠水等の被害。
24. 12. 6 ～12. 7	暴 風	低気圧の通過に伴い最大風速19.9m/s、最大瞬間風速31.3m/sを観測。 市内数ヶ所で停電が発生、人的被害3件。
25. 8. 27	大 雨	市内平野部で1時間あたり81mmの降雨を観測。 床上浸水4件、床下浸水5件、道路陥没1件、歩道陥没2件、法面崩壊3件、舗装破損1件、橋台洗掘1件。

自然災害・大火・その他特異災害記録（つづき）

年 月 日	災害の種類	災 害 の 概 要
平成26. 7. 8	地 震	18時05分、震度4。（石狩地方南部 M5.6）軽傷者1名。
26. 9.11 ～9.12	大 雨	山間部及び平野部で1時間当たり約110mmの降雨を観測。（記録的短時間大雨情報） また大雨特別警報が発表された。土砂災害15件、床上浸水1件、床下浸水16件、道路・公園などの冠水39件。被害額 213,229千円。
26.11.12	暴 風	低気圧の通過に伴い最大風速13.2m/s、最大瞬間風速20.6m/sを観測。 住宅及び工場・倉庫等の建物被害8件、電柱の破損、倒木22本。
27. 7.31	フェリー 火 災	17時15分頃 苫小牧港沖真南方向の約30マイル（約55 k m）でフェリー火災が発生（積載車両から出火）。死者1名。
27. 9. 2	大 雨	土砂災害警戒情報発表。1時間最大雨量56.5mmを観測。明徳町の一部、住吉町、高丘の一部（1,692世帯、3,022名）に避難勧告を発令し、日最大148名が避難。 市内一部で停電、道路冠水多数発生した。
27.10. 8	暴 風	最大風速15.8m/s、最大瞬間風速28.0m/sの風を観測。軽症者1名、家屋被害63件、倒木157本の被害のほか、市内一部で停電が発生。また倒木のため通行規制を実施。
28. 2.29 ～3.1	大 雪 暴 風 雪	最大風速22.1m/s、最大瞬間風速32.6m/sを観測。家屋被害28件、大型ビルの壁面看板崩落などにより道路通行規制を実施。また市内一部で停電が発生した。
28. 8.3 ～8.4	ガス爆発	6時35分頃、日新町の集合住宅でガス爆発及び小規模火災が発生。当該建物の一部焼損。避難所として開放した町内会館に付近住民21名が一時避難。負傷者1名。
28. 8.30	暴 風	台風10号の通過に伴い、市内沿岸部で高波・越波により浸水被害が発生。市内沿岸部799世帯1,376名に対し避難準備情報、有明町、小糸井町、字糸井の沿岸部に避難勧告を発令。日最大58世帯、132名が避難。 公共施設の被害として倒木50本、建物被害6件、フェンス・看板破損7件、その他6件の被害が発生した。また、一般住宅等で床下浸水3件、ブロック塀の破損2件、物置の破損10件、沿岸部では流木の漂着などの被害が発生した。
29. 9.17	津 波	チリ中部沖での地震発生に伴い、津波注意報が発表。沿岸部での警戒活動を実施したが、津波による被害はなし。（苫小牧西・東港で0.2mの津波を観測）
29.10.23	暴 風	最大風速13.6m/s、最大瞬間風速24.2m/sを観測。重症者2名、軽症者1名のほか、家屋被害16件が発生した。
29.12.25	暴 風	最大風速16.5m/s、最大瞬間風速26.2m/sを観測。重症者1名。
30.3.1	暴 風 雪	最大風速14.6m/s、最大瞬間風速23.3m/sを観測。市内一部で停電が発生した。 字丸山地区林道で遭難事案発生。死者1名。

年 月 日	災害の種類	災 害 の 概 要
平成30.9.4	暴 風	台風21号の接近に伴い、最大風速20.6m/s、最大瞬間風速32.6m/sを観測。家屋等被害60件、倒木・枝折れ346本の被害が発生したほか、市内一円（最大5,890戸）で停電が発生した。
30.9.6	地 震	3時07分、震度5強。（胆振地方中東部 M6.7 最大震度7）平成30年北海道胆振東部地震と命名され、苫小牧市では、人的被害は死者2名、重傷者9名、軽傷者15名、家屋被害は半壊5件、一部破損340件を確認。公共施設、霊園の地割れ等の被害により災害復旧費は104,166千円とみられている。
31.2.21	地 震	21時22分、震度4。（胆振地方中東部 M5.8 最大震度6）軽傷者3名。
令和3.2.16	ガス爆発	8時19分頃、しらかば町の一般住宅でガス爆発による炎上火災が発生。避難所として開放した総合福祉会館に付近住民39名が一時避難。家屋全焼1棟、負傷者2名。
3.6.7	暴 風	低気圧の通過に伴い最大風速14.8m/s、最大瞬間風速22.1m/sを観測。人的被害は重傷者1名、軽傷者1名。
3.11.9	暴 風	低気圧の通過に伴い最大風速15.3m/s、最大瞬間風速22.0m/sを観測。人的被害は軽傷者2名。
3.11.22	暴 風	低気圧の通過に伴い最大風速16.0m/s、最大瞬間風速22.9m/sを観測。人的被害は軽傷者3名。
4.1.16	津 波	0時15分、トンガ沖での海底火山の大規模噴火に伴い、津波注意報が発表。沿岸部での警戒活動を実施したが、津波による被害はなし。（苫小牧西港で0.3mの津波を観測）
5.6.11	地 震	18時55分、震度4。（浦河沖 M6.2 最大震度5弱）人的被害はなし。
6.1.1	津 波	能登半島地震発生に伴い、津波注意報が発表。津波による被害はなし。

〈資料〉市危機管理室